

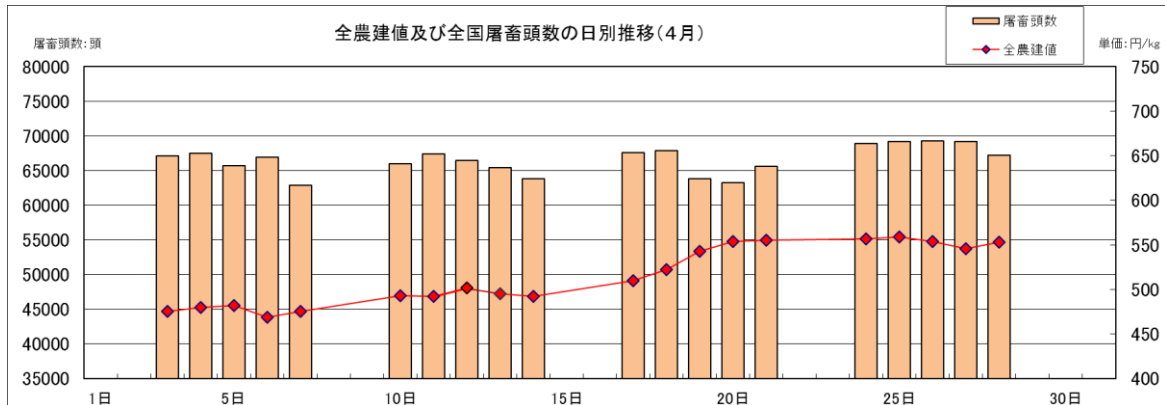
肉豚インフォメーション（4月）

●4月の動向

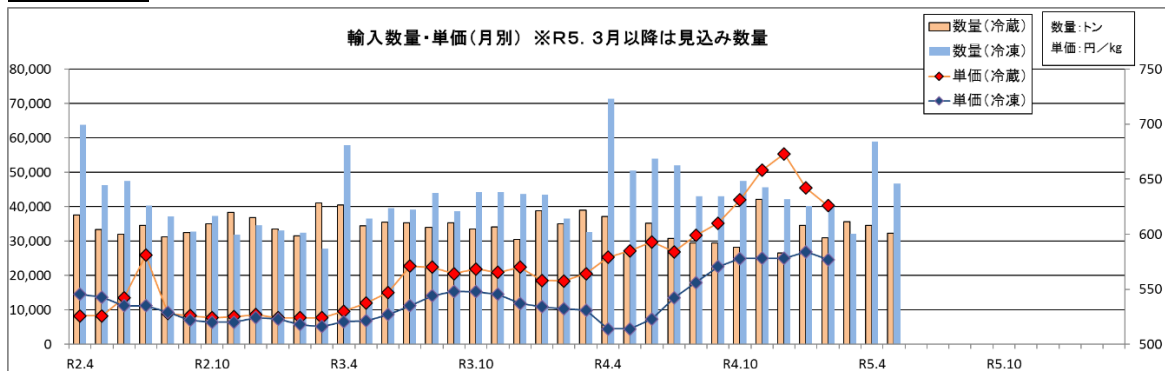
2023年3月（税抜）	2022年3月（税抜）
515円/kg（41円高）	474円/kg

※全農建値

4月は、上旬から中旬にかけて低調に推移したが、下旬にかけて大型連休の手当て買いもあり相場は上げ基調で推移する展開となった。

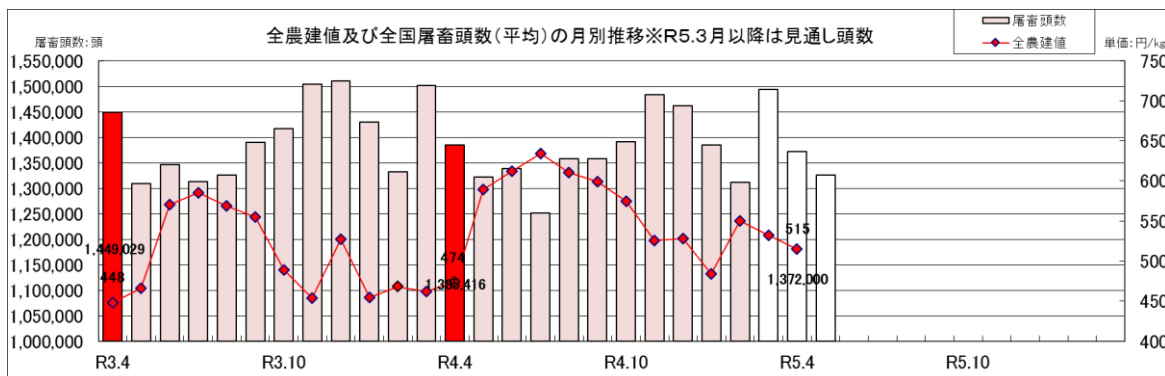


●輸入動向



●5月の動向

5月の出荷頭数は、前年同月並と予測されている。



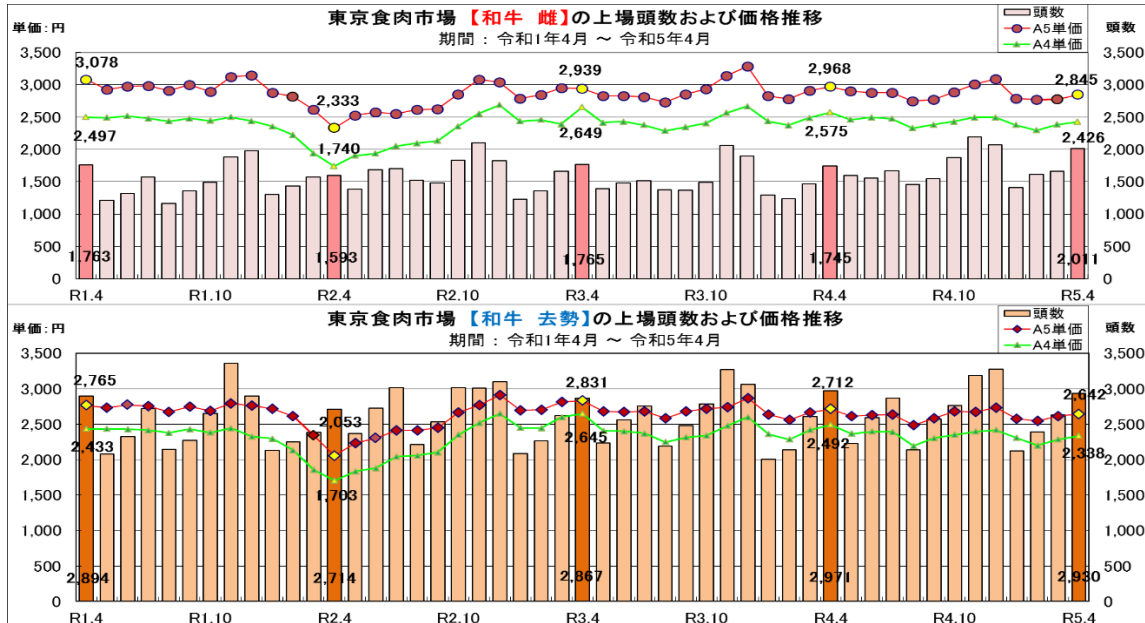
5月の相場は、底堅く推移すると予想される。

全農建値（税抜）予測レンジは550円～600円とする。

肉牛インフォメーション（4月）

● 4月の動向

新年度を迎え卸関係の購買は活発だった。月初から強気の展開で3月相場を上回った。後半の相場は緩んだものの、もちあいから強もちあいで展開した。



● 5月の動向予測

相場はGWの売れ行き次第だが、東京市場は5日間休市のため休み明けは補充で活発なセリを見込む。補充後は例年同様に需要が鈍る時期に入るため小幅安の展開が予想される。

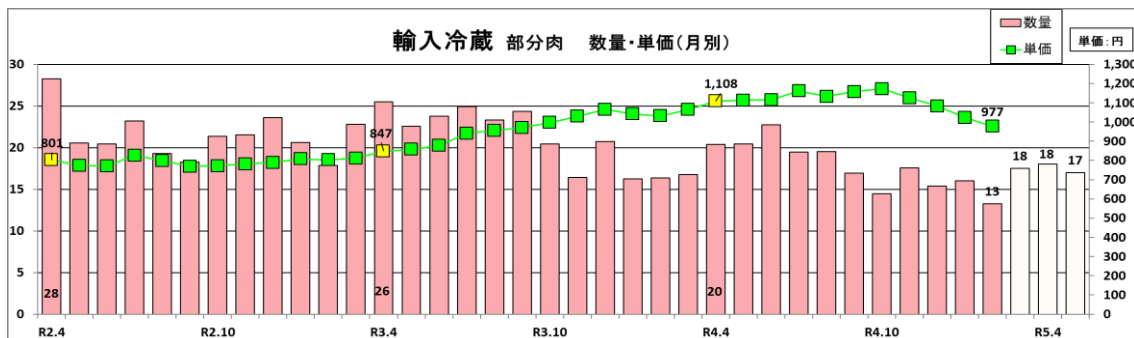
4月相場は「強もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,600円（税込み） A4等級 2,300円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、米国産輸入量が現地価格の高騰等により少ないこと等から、4月はかなり大きく、5月は大幅に、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。（ALIC牛肉の需給予測について4月26日）



食肉インフォメーション（4月）

●消費動向

○牛肉

4月は相次ぐ食品の値上げから、安価なウデ・モモといった裾者中心の動きとなった。5月はGWやコロナ5類移行に伴うBBQ・行楽需要の回復を見込んで、ロース・バラ等の焼き材やスペアリブの動きが活発になる見込み。

○豚肉

GW・コロナ5類移行による需要回復への期待が大きい。気温上昇に伴い、バラ系等の焼き材が活発に動く一方で、煮込み用のスネやウデの動きは鈍くなる見込み。高価格なロイン系・リブロース系は値上げラッシュの煽りを受けて厳しい展開が予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年3月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和2年度3月	12,983	14,442	7,575	30,766	12,093	12,661	8,543	99,063
令和3年度3月	13,746	11,697	5,791	24,934	19,980	11,615	5,603	93,366
令和4年度3月	12,535	13,058	6,585	29,025	20,141	9,342	7,251	97,937
増減 (R4-R3)	-1,211	1,361	794	4,091	161	-2,273	1,648	4,571
対比 (R2/R4)	97%	90%	87%	94%	167%	74%	85%	99%
対比 (R3/R4)	91%	112%	114%	116%	101%	80%	129%	105%